

「いざ」というとき、できるように！

～ 一泊避難訓練：仁賀保高校B & V同好会 ～



3月8日と9日、仁賀保高校で同校Benkyo & Volunteer 同好会主催の避難訓練・避難所運営訓練が行われ、市民と生徒ら約130人が参加しました。

訓練は北東北日本海側にマグニチュード8.7の連動地震が発生したことを想定。避難訓練では地震が起きた瞬間の身の守り方が大切であることを確認。避難所運営訓練では、生徒一人ひとりに様々な状況の避難者役を与えて行われ、体育館の区割り、避難者の状況に応じた誘導、食事の準備など綿密な計画のもと、実際の災害時に対応できるようにと生徒たちの真剣な様子が見られました。

設定された状況に応じて避難所の受け付けを行う

思いやりのある社会の実現に向けて

～ 男女共同参画講演会 ～

3月9日、仁賀保勤労青少年ホームで男女共同参画講演会が行われ市民ら約150人が参加しました。講演会に先立ち上演された対話劇では、男女共同参画社会の大切さを表現した寸劇が方言を交えてコミカルに演じられ、会場は大きな笑い声に包まれました。

その後に行われた講演会では、仕事と家庭のバランスをテーマに、講師には夫婦で音楽活動を行っているESPERANZAが招かれました。難病を思いながらも夫婦で支えあい生きてきた経験から、お互いを思いやることの大切さなどが語られました。



自分らしく生きることの素晴らしさ

楽しいね！実験教室

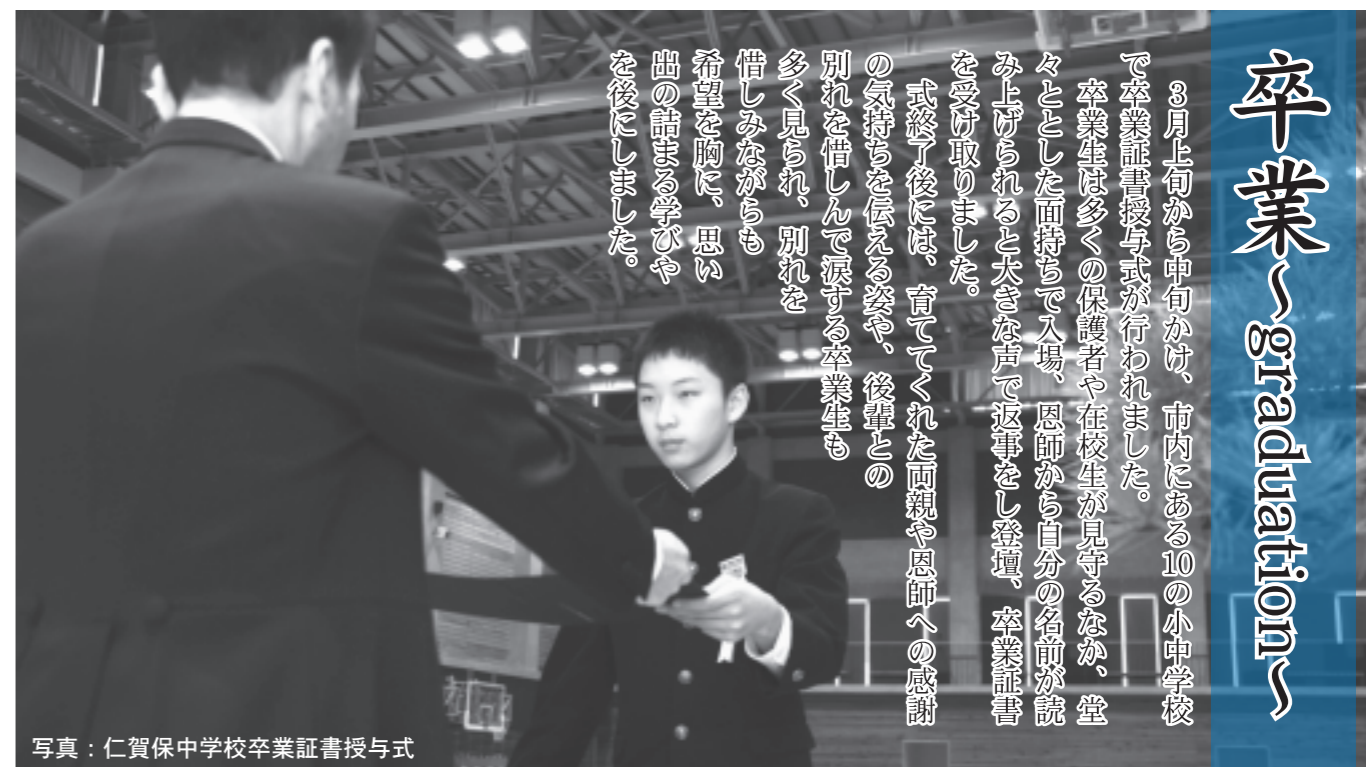
～ 米村でんじろうサイエンスプロダクション実験教室 ～

3月16日、米村でんじろうサイエンスプロダクション実験教室がフェライト子ども科学館で開催され、延べ34人の親子が参加しました。

実験教室では、リニアモーターカーのように滑走するドライアイスを利用したドライアイスカーに試乗したり、風船の風圧を利用し同じく宙に浮かぶように走るドライアイスカーに興味津々のようで、机の反対側まで走らせたり、回転させてみては「バレリーナみたいだ！」などと、時間を忘れ楽しんでいました。



ドライアイスカーに“試乗”する子どもら。



写真：仁賀保中学校卒業証書授与式

卒業 graduation

3月上旬から中旬かけ、市内にある10の小中学校で卒業証書授与式が行われました。卒業生は多くの保護者や在校生が見守るなか、堂々とした面持ちで入場、恩師から自分の名前が読み上げられると大きな声で返事をし登壇、卒業証書を受け取りました。

式終了後には、育ててくれた両親や恩師への感謝の気持ちを伝える姿や、後輩との別れを惜しんで涙する卒業生も多く見られ、別れを惜しみながらも、希望を胸に、思い出の詰まる学びやを後にしました。

平成24年度卒業生数

	学校名	卒業生数
小学校	平沢小学校	65人
	院内小学校	25人
	小出小学校	9人
	金浦小学校	36人
	象潟小学校	48人
	上浜小学校	19人
	上郷小学校	20人
	小学校合計	222人
中学校	仁賀保中学校	104人
	金浦中学校	42人
	象潟中学校	120人
	中学校合計	266人



- 1 卒業証書を手にとり退場（仁賀保中）
- 2 恩師へ花束贈呈（金浦中）
- 3 卒業生送辞（金浦中）
- 4 卒業生の合唱（象潟中）
- 5 恩師と一緒に（金浦中）
- 6 最高の仲間たちと一緒に（象潟中）



卒業生のみなさん、おめでとう。